

波佐センターだより

発行日：令和3年5月25日

発行元：波佐まちづくりセンター 【電話】0855-44-0146

波佐地域の人口と世帯数等

【R3. 5.1 現在】

人 □ 438人

◇世帯数 224世帯

◇高齢化率 53.42%

◇金城町の人口 4,037人

◇浜田市の人口 52,139人

6月号 N0483

新緑の中 歩いてつながる輪！話！和！

5月15日（土）、『波佐歴史探訪ウォーキング大会』が開催されました。去年は、新型コロナウイルスで残念ながら中止しましたが、今年は感染対策を十分に行って臨みました。

当日天候を心配しておりましたが、梅雨入り前の晴れ間に助けられ総勢約70名が新緑を楽しみながらのウォーキングになりました。今までは、チベット探検家能海寛歌碑めぐりを主としておりましたが、今年からは歌碑や歴史・昔の街並みを中心とした約5.6kmのコースに挑みました。

参加者からは「まだまだ知らない場所がある。もっとたくさんを知りたい。（小学生）」「協力が大切と言われて、学校でも協力は大切だと思いました（小学生）」「観光スポットになりそうなところを回って楽しかった。波佐の昔の街並みを知ることができた。（中学生）」「町や自然を見ながら歩くのも楽しく、お宮では神社の話だけでなく、木や川の話も聞けて楽しかったです。（30代）」「新しいルートを取り入れられて興味深く歩かせて頂きました。むかしの通り（道）は風情がありますね。（50代）」等々。

保育園児から80代迄という幅広い世代がそれぞれに自然と歴史を満喫しました。

お昼前にときわ会館へゴールし、参加者全員に山菜入り炊き込みご飯を持ち帰っていただきました。

最後に、参加して下さった皆様と、ウォーキング大会の開催にあたり、地域の皆様にはコース周辺の除草作業等ご協力をいただき、無事に終える事が出来ましたこと深く感謝いたします。ありがとうございました。



亀谷原町内の速田神社

高学年児童が低学年や保育園児の手を引いて歩いてくれました。（*^-^*）





5月19日（水）波佐小学校で田植え学習がありました。始めに6年生から苗の植え方について説明があり、その後地域の方が準備して下さったお花をさんばいさんにあげてから田植えのスタート。

1年生は初めての経験で、ぬかるむ田んぼの中での作業に苦労していたようですが、高学年はなれた手付きで田植えをしていました。途中保育園児の田囃子の応援があり、可愛い姿にしばし手を休め皆で眺めました。終わってから場所を移動し、ランチルームで田植えおすびをいただきました。

振り返りでは、「去年は田んぼの水が冷たかったけど、今年はあったかかった」「今日で6回目の田植えをし、波佐でしか出来ない経験ができて地域の方に感謝したいです」・・・等々。

今回も、自分の感じた事を言葉にして堂々と人前で言える波佐小児童に感心しました。素晴らしいです。



田植えの前にさんばいさん（田の神様）へお花をあげて感謝をし、豊作を祈ります。



あともう少しだよ～みんな頑張ろう！



保育園児が田囃子で応援に！ 可愛かった～。



今年の田植おすびは、昨年収穫した波佐っ子米と、岡崎くんが1年の時に先生と栽培した丹波の黒豆を使いました。だから味も格別！！でしたよ。（*^-^*）



～ミシンボランティアへ言ってきました～



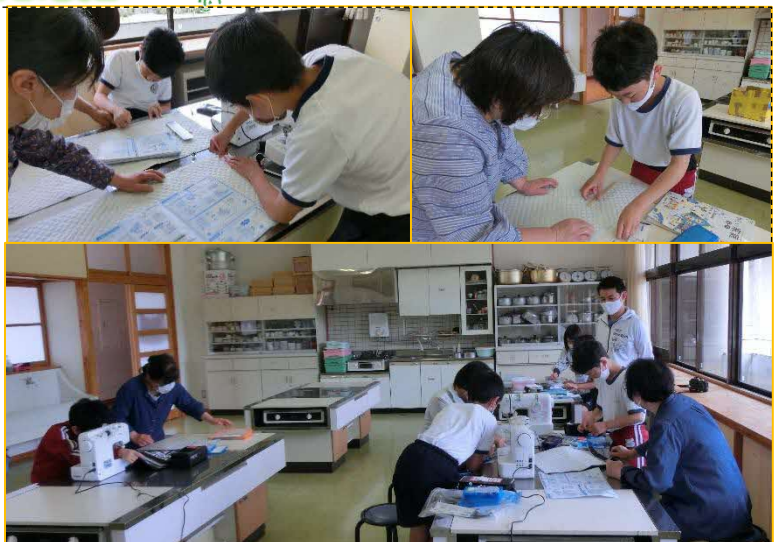
5月14日と21日、地域の方のご協力で波佐小学校6年生のミシンボランティアへ行ってきました。

一日目は、「最近のミシンはどうなん？私にわかるかな？」と不安もありながらのスタートでしたが、さすが皆さんベテラン！

6年生も飲み込みがよくて、先生が予定されていた時間よりもはるかに進みました。

二日目はこの前の続きから。6年生もミシンの扱いに慣れて縫うスピードも速くなり、あっという間に完成！！途中6年生の撮影ポーズがおかしくて皆で大笑いをする場面もあり、楽しいミシン学習になりました。終わった後、地域の方から「皆しっかりと自分の意見が言えてすごい！」「楽しかった、久しぶりにいっぱい笑った」又、5年生と地域両方から「来年もお願いします」等の感想がありました。（*^-^*）

6年生は自分で作った“世界に一つだけのマイリュックサック”をもって、6月に修学旅行へ行きます。



～波佐まちづくりセンターからのご案内～

せせらぎ俳句教室の作品

季題 『山女』

溪流の淵の名問ひて山女釣
山女釣竿の合図で動き出し

哲夫

山女釣り昨日も今日も猫の真似
釣人の山女手尺や手に余る

定雄

せせらぎの音に癒され山女釣り
溪谷や看板多し山女宿

たきよ

細道にマイカー置き山女釣り
一人宿チヨコになみなみ山女焼く

ヨシコ

山女つり形見となりし釣りの竿
釣堀の山女つり上げはしゃぐ親

サチエ

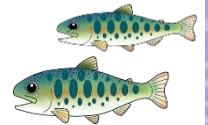
清流に釣り人並び山女酌
早々と腕章肩に山女釣

浪子

日暮れまで山女追いかけ川上へ
山女待つ孫の数ほど釣る覚悟

愛美

次回六月十九日(土) 午前九時
季題 「著莪の花」



浜田っ子共育推進事業



～金城中学校2年生ふるさと再発見事業～

日 時：6月16日(水) 午前中

テーマ：波佐の歴史と地域で働く人に学ぶ

日 程：午前9時～10時 永昌寺・佐田家・速田神社(尼子と波佐について)

説明者(澄川和則 様 ・佐田雅宏 様)

午前10時～11時 エクス和紙の館(工房作業内容の説明と体験)

説明者(伊藤 康 様)

午前11時～11時30分 振り返りの会(波佐まちづくりセンター)

※昨年のふるさと再発見事業は、全国一斉の緊急事態宣言が発令され中止となりましたが、今年は今の所実施できると考えています。

波佐には、こんなに素晴らしい もの・こと・ひと がいることを、ぜひ中学生に知ってもらい自分の故郷に愛着を持ってほしいと願っています。



6月ときわカフェ

日 時：6月22日(火) 午前9時～11時

内 容：家庭でできる応急手当

講 師：金城支所防災自治課 田中 清様他

参加費：100円

※蜂に刺された・やけどをした・骨折した等突然の怪我に直面すると気が動転してしまいます。

救急車がくるまでに・・・受診するまでに・・・適切な手当をすることで悪化するのを防ぐことが出来ます。皆様のご参加をお待ちしています。

～ふるさと学習会～

日 時:令和 3 年 6 月 30 日(水)午前 9 時~10 時 30 分

場 所:美又まちづくりセンター ☎42-1704

講 師:島根県立大学 准教授 田 中 輝 美 氏

テーマ 『いま島根が面白い! 全国最先端の地から』

島根県はいま地域づくりの先進地として、全国で知られるようになっていきます。

それはなぜ?どんな風に?島根県浜田市で生まれ育ち、長年島根取材してきた立場から今の島根の面白さと時代の変化を解説します。 皆さまお誘いあわせてご参加ください。

【講師紹介】

浜田市生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。山陰中央新報社に入社し報道記者として勤務。2014 年同社を退社し、フリーの「ローカルジャーナリスト」として島根に暮らしながら、地域のニュースを記録、発信している。2014 年 4 月島根県立大学地域政策学部の准教授として着任。



2021 6 月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
今年のホタル祭りは中止です。		1 窓口開設日 	2	3 3B体操教室 	4 金城中インタ ビュー訪問 運動教室 百歳(社協)	5 職員不在日 
6  職員不在日	7	8 窓口開設日 移動図書館 ひだまりグルー プ 	9 ぬり絵教室	10 	11 運動教室 (講師)	12 職員不在日
13  職員不在日	14	15 窓口開設日 生花教室 	16 金城中ふるさと再発見事業	17 敬老乗車券 販売  3B体操教室	18 運動教室 百歳(社協)	19 俳句教室  職員不在日
20 なわて塾 職員不在日	21	22 窓口開設日 ときわカフェ 	23	24 	25 運動教室 (講師)	26 職員不在日
27  職員不在日	28	29 窓口開設日 	30 ふるさと学習 会(美又)	 はボランティアタクシーの運行日です。		

※6/16(水)・6/30(水)はセンター事業のため午前中留守にします。ご迷惑をかけますがご了承ください。